

試薬管理システムの開発と導入

◎井上 卓¹⁾、森里 幸¹⁾、松島 江理¹⁾、坂根 潤一¹⁾、小野田 薫¹⁾、和久田 智江¹⁾、横井 晴美¹⁾、神園 万寿世¹⁾
地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院¹⁾

【はじめに】検査業務として、臨床に提供する検査データの質だけではなくそれを担保するための『管理の質』が重要視されている。管理業務の1つに試薬管理があり、これには試薬のロット、期限だけではなく入庫記録、使用開始記録など様々な記録を維持管理していくことが必要とされている。しかし、これらの管理を手書き台帳などで行うことは業務の負担や記録の正確性といった観点から改善が求められている。

【目的】効率的かつ正確な試薬管理方法の確立を目的とし、検査試薬に添付されているGS1-128バーコードを利用し、Excel VBA(Visual Basic for Applications)によって記録業務を支援する管理方法の開発を試みた。

【方法】Excel VBAプログラミングを用いデータファイルに6つの機能を付与した。1つ目は商品コードと試薬名を紐付けるための試薬データベースを構築する機能である。2つ目は、GS1-128バーコードを読み取ることで試薬名、ロット、期限を抽出・記録し、その試薬情報が記載された識別用ラベルを発行する機能である。3つ目は、職員番号

によるログイン画面を作成し、データへのアクセス制限と誰が記録したのか管理可能にする機能である。4つ目は、データを保護することによる記録の書き換え防止機能である。5つ目は、識別用ラベルを複製できる機能である。6つ目は、期限間近、期限切れに対応し背景色を変更する機能である。また、試薬管理画面に様々なActiveXコントロールを使用し視認性と操作性を向上させた。

【結果】GS1-128バーコードとExcel VBAを利用することにより試薬のロット、期限、入庫日時、使用開始日時、使用終了日時などの記録、そしてその記録を誰が行ったのかをバーコード読み取り作業のみで管理することが可能となった。また、期限による視覚的効果の付与により試薬期限の認識が容易になった。

【結語】Excel VBAはExcelを使用できる端末であれば利用可能であり、開発環境や使用環境といった制限が少ないツールである。Excel VBAを利用した試薬管理方法は、記録の正確性を向上し、かつ業務効率化を可能にする。
連絡先：054-247-6251(内線 2325)